

医学部生

脳神経外科連携
大学院生

大学院生

医学部生

衛生学公衆衛生学講座における 医学部生の研究指導について

秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座

野村恭子

セントルシアからの留学生

医学部衛生学・公衆衛生学講座の医学生が係っている研究プロジェクト

医学部生が主導

1. トラックドライバー睡眠調査（さんぽ委託研究）
2. HPVワクチン意識調査とRCT（文部科学省助成）
3. 高齢者社会的孤立調査（厚生労働省モデル事業）
4. 協会けんぽ秋田支部10万人DB研究（けんぽ共同研究）
5. 全国協会けんぽ4000万人DB研究（全国けんぽ委託研究）
6. メグミルク全国母子1000名追跡調査（企業共同研究）
7. 秋田県民栄養調査（県庁委託調査）
8. ひきこもり調査
9. 就労女性の健康システマティックレビュー（AMED研究）
10. 就労女性の労働生産性研究（文部科学省助成）
11. 更年期～老年期の女性の健康問題（厚生労働省研究班）

ある日の放課後の講座風景



医学部4年生太田さんが
基礎配属中の医学部3年
生加藤さんを教えている



医学生による医学生の指導



医学部4年生 安田実生さん中心

基礎配属 板橋さん、小川くん、梅本君
こどもの発達をアウトカム

母乳栄養法

母親の栄養法

兄弟の有無、両親の学歴、喫煙状況など
どのような社会背景因子が影響があるのか
分析を行う

① 雪印メグミルク研究

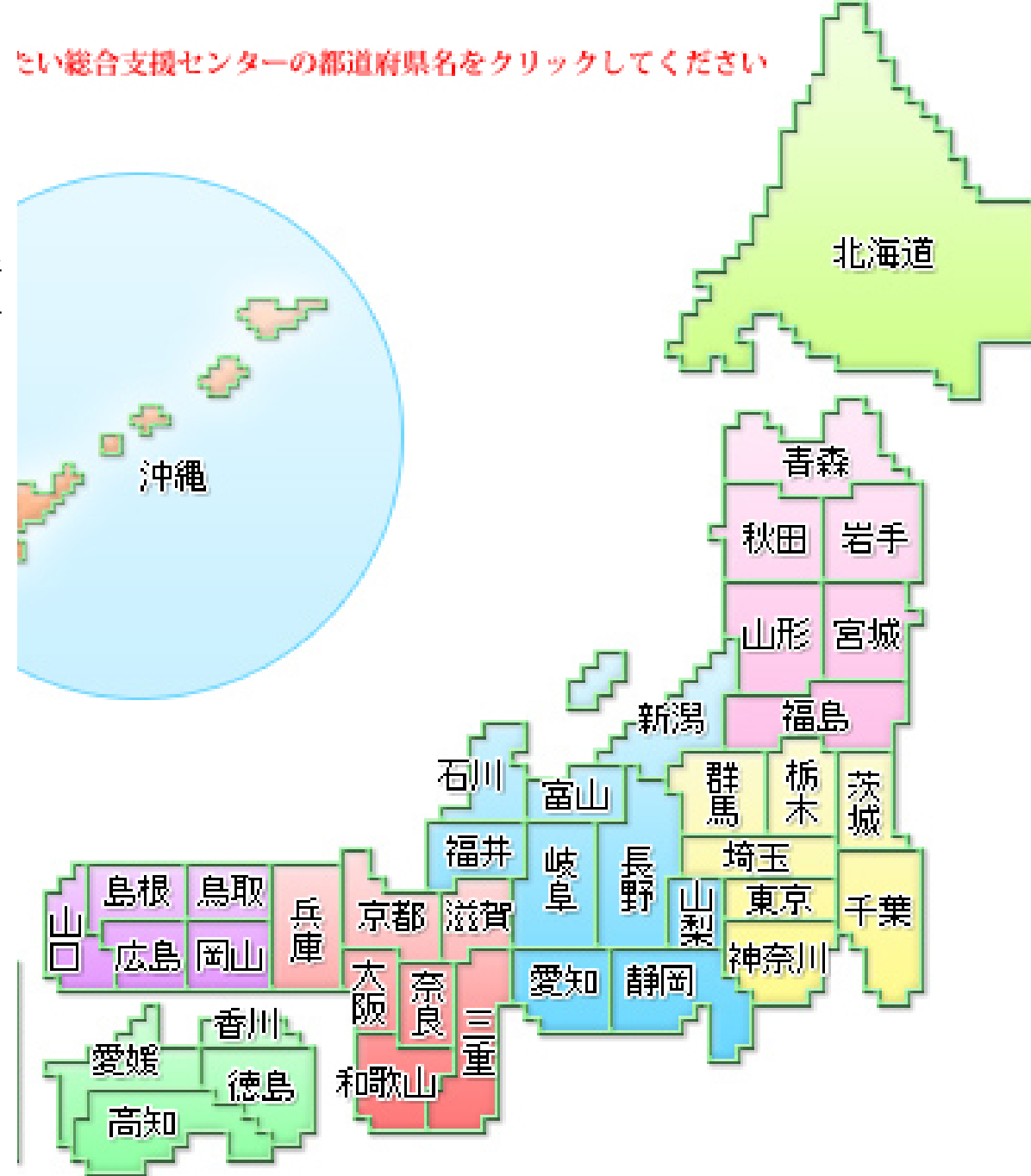
- 30年に一度の全国1000名の母子縦断
- 1960年から開始の歴史ある調査
- 社長の肝いり研究
- バイオ出身の研究者7名との共同研究
- 社員も1名秋田大学医学博士課程へ進学

② トラック ドライバー研究

- 協会けんぽ秋田支部
- トラック協会
- 学生 宮地、菅野、安藤、青木
× 3, 清水、梅本、基礎配属学
生 8名
- 全国労働機構 さんぽ



とい総合支援センターの都道府県名をクリックしてください



参加メンバー
 (65名)
 秋田県医師会
 医師会長他理事
 10名
 リンクワーカー
 10名 医師会
 事務局5名 県
 庁福祉部3名
 国保 5名 秋
 田大学 公衆衛
 生学講座 1年
 目 9名 2年
 目8名 東北医
 科薬科2名



リンクワーカー

ラインによるネットワーク形成
 分析からPDCAサイクルを回してリ
 ンクワーカーの支援をサポート



秋田大学医学部
 公衆衛生学講座

紹介



地域コミュニティ創設

社会的資源
 紹介



秋田県地域在住高齢者
 3分の1 独居
 3分の1 夫婦世帯



秋田県8地区かかりつけ医

高齢者を社会的孤立から守り
 地域のコミュニティにつなげる

③社会的処方研究
太田さん、加藤さん、
安藤さん中心
基礎配属の学生さん

「Well-beingが向上する健康なまちづくり」プロジェクト

R3 - 5年度高齢者医療制度円滑運営事業費補助金厚生労働省モデル事業

患者が抱える孤立、貧困、DV・虐待など、健康に影響を及ぼす社会的決定要因（SDH）を社会的処方により取り除き、病気の重症化予防・フレイル予防につなげることにより、患者が地域において生き生きと健康で暮らせる社会の実現を目指す。

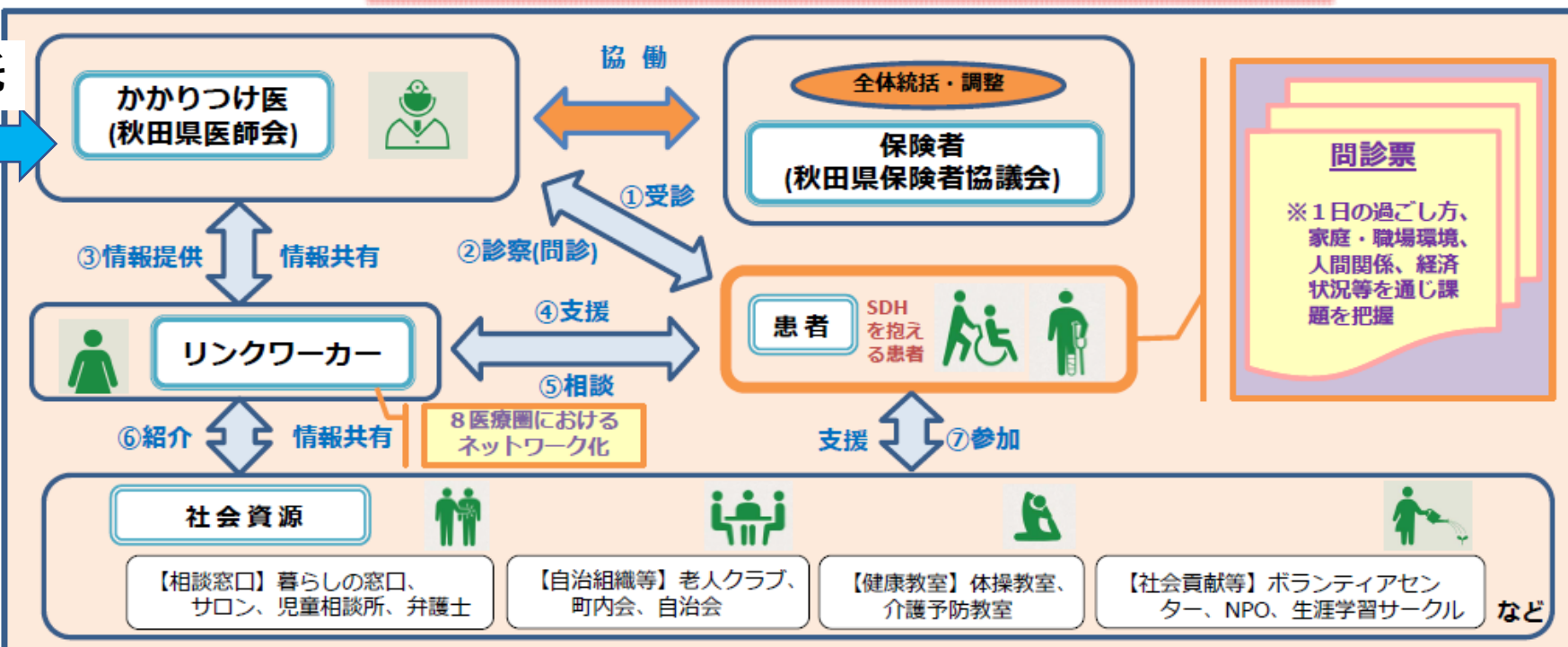
概要

- ・かかりつけ医は、受診の場面で患者が抱えるSDHについて「問診票」により把握し、地域の調整役であるリンクワーカーに情報提供する。
- ・リンクワーカーは、保険者やかかりつけ医等と情報を共有しながら、個々の患者に合った集いの場や相談窓口、専門家等の社会資源につなげ、患者への支援を行う。

社会的処方の全体イメージ

秋田県全域(8医療圏)に拡大して実施 ※R3年度は5医療圏で実施

委託



社会的処方（social prescribing）とは、社会的孤立に陥っている患者を支援するために、地域の活動やサービスなどの社会参加の機会を“処方”すること

評価と事業支援 秋田大学 医学部衛生学・公衆衛生学講座

リンクワーカーとは、社会的資源の種類や場所をよく知っており、且つ患者の個別状況に応じて適切と思われる社会資源を提供できる人

全国の学会で筆頭で発表の機会を提供

<R4>

- 日本産業衛生学会（高知）：医学部6年青木、4年酒井、3年清水
- 東北公衆衛生学会（山形）：医学部6年海老原、3年清水
- 秋田県公衆衛生学会（秋田）：医学部生発表人数7名
- 日本産業衛生学会（山形）：医学部4年安藤、4年酒井
- 日本衛生学会（東京）：医学部6年太田

<R5>

- 日本産業衛生学会（宇都宮）：医学部5年 安藤
- 東北公衆衛生学会（福島）：医学部3年加藤、4年太田、安田
- 秋田県公衆衛生学会（秋田）：医学部生発表人数 未定
- 日本公衆衛生学会（つくば）：医学部3年加藤、4年太田、安田

医学部生による筆頭学会発表件数 2021年実績 16名

- ◆ 太田友, 野村恭子, 平山純子, 小松順子, 土谷明子, 冲永寛子. 「大学病院に勤務する女性看護師における労働負荷と性周期に伴う身体不定愁訴の離職意向に及ぼす影響。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ 藤田望, 野村恭子, 平山純子, 小松順子. 「大学病院に勤務する女性看護師における精神的・肉体的労働負荷がPMSに及ぼす影響。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ 宮地貴土, 酒井一樹, 岩田豊人, 菅野勇太, 野村恭子. 「我が国のトラック運転手における不眠症の有病率とその関連因子。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ 菅野勇太, 宮地貴土, 安藤友華, 岩田豊人, 野村恭子. 「トラックドライバーにおける不眠症と空腹時血糖障害の関連。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ 海老原真優, 藤田望, 太田奈歩, 岩田豊人, 澤口駿, 野村恭子. 「2017年協会けんぽ秋田支部に加入する男女労働者66109名における業種とうつの関連：性差の検討。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ 太田奈歩, 海老原真優, 野村恭子. 「かかりつけ医による患者の社会的処方に向けた評価方法の検討。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ Tomoka Ando, Takashi Miyachi, Yuta Sugano, Toyoto Iwata, Kyoko Nomura. 「Insomnia and Lifestyle-related diseases among Japanese male truck drivers」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ T Suzuki, N Sakata, M Kamatsuka, Y Ota, N Fujita, J Hirayama, K Nomura. 「Gender Differences in Factors Affecting Human Papillomavirus Vaccines Behavior。」第80回日本公衆衛生学会. 東京 2021.12.23
- ◆ 坂田捺哉, 鈴木智也, 太田友, 鎌塚真, 藤田望, 清水吹紀, 平山純子, 寺田幸弘, 野村恭子. 「子宮頸がんワクチン接種行動に影響する因子の性別による検討。」就労女性研究会. 東京 2021.11.15
- ◆ 坂田捺哉, 鈴木智也, 太田友, 鎌塚真, 藤田望, 清水吹紀, 平山純子, 寺田幸弘, 野村恭子. 「子宮頸がんワクチン接種行動に影響する因子の性別による検討。」秋田県子宮頸がん委員会. 秋田 2021.9.13
- ◆ 安藤友華, 宮地貴土, 菅野勇太, 岩田豊人, 澤口駿, 高橋耕平, 三島和夫, 野村恭子. 「秋田県の男性トラック運転手における不眠症の生活習慣病との関連。」日本産業衛生学会東北地方会. 秋田 2021.7.24
- ◆ 鎌塚真, 岩田豊人, 長澤徹, 高橋耕平, 澤口駿, 野村恭子. 「協会けんぽ秋田支部被保険者120,788名7年間追跡コホートにおけるアルコール性肝機能障害に及ぼすベースライン血清肝胆道系酵素の影響。」日本産業衛生学会東北地方会. 秋田 2021.7.24
- ◆ 酒井一樹, 宮地貴土, 高橋耕平, 澤口駿, 岩田豊人, 野村恭子. 「職域健康診断での精密検査受診勧奨に対するアドヒアランス不良行動に影響を与える因子の研究) .」東北公衆衛生学会. 秋田 2021.7.23
- ◆ 海老原真優, 藤田望, 太田奈歩, 野村恭子, 岩田豊人, 澤口駿, 高橋耕平. 「平成29年度の秋田県協会けんぽ女性被保険者35,725人における“離職”と“うつ”に関連した因子の検討。」東北公衆衛生学会. 秋田 2021.7.23
- ◆ 太田友, 野村恭子, 平山純子, 前田恵理, 小松順子, 中村美央, 山田楼子, 石川ひとみ, 小林禎子, 白川秀子, 土谷明子, 平池春子, 合阪幸三, 平池修, 冲永寛子. 「大学病院に勤務する女性看護師における性周期に伴う身体不定愁訴の離職意向に及ぼす影響。」東北公衆衛生学会. 2021.7.23
- ◆ 鈴木智也, 太田友, 鎌塚真, 藤田望, 清水吹紀, 平山純子, 寺田幸弘, 野村恭子. 「子宮頸がんワクチン接種行動に影響する因子の性別による検討。」東北公衆衛生学会. 秋田 2021.7.23

医学部生による筆頭学会発表件数 2022年実績 17名

- ◆ 太田奈歩, 海老原真優, 安藤友華, 山崎貞一郎, 脇坂憲人, 坂田捺哉, 田中静音, 平山純子, 眞壁幸子, 青木瑞樹, 伊藤伸一, 小野崎圭助, 小泉亮, 細谷拓真, 最上希一郎, 小玉弘之, 野村恭子.
「高齢者への社会的処方の実装における障壁と促進要因. 秋田県5地区でのかかりつけ医へのインタビュー調査。」 秋田県公衆衛生学会. 2022.11.16
- ◆ 安田実生, 野村恭子, 野尻恵資, 辻森祐太, 日暮聡志, 鳥羽保宏.
「分娩後1~2か月時点におけるKIDS scaleの発達通過率に関連する成育環境因子の検討。」 秋田県公衆衛生学会. 2022.11.16
- ◆ 大関千潤, 前田恵理, 平池修, 野村恭子, 大須賀穰.
「月経前症候群のセルフチェックシートによる啓発と受診行動および症状の変化。」 秋田県公衆衛生学会. 2022.11.16
- ◆ 荒巻修治, Yong Kim Fong Roseline, 野村 恭子.
「ひきこもりの社会参画のための障害に対するアプローチを考える。」 秋田県公衆衛生学会. 2022.11.16
- ◆ 工藤桃子, ロザリン・ヨン, 野村恭子.
「ひきこもりの支援に関する研究:ピアスタッフが運営する居場所の参与観察を通して。」 秋田県公衆衛生学会. 2022.11.16
- ◆ 清水紀翔, 澤口駿, 野村恭子.
「協会けんぽ秋田支部に加入する被保険者の業種とうつ罹患率、およびうつ病に関連する因子の検討。」
秋田県公衆衛生学会. 2022.11.16
- ◆ 太田友, 野村恭子, 藤田望, 鈴木智也, 鎌塚真, 坂田捺哉, 長島健悟, 平山純子, 藤田直子, 志賀くに子, 大山則昭, 寺田幸弘.
「秋田県在住の大学生・大学院生を対象としたLINEを用いたHPVワクチン接種意思へのランダム化比較試験。」 就労女性健康研究会. オンライン開催 2022.11.12
- ◆ 難波美羅, 飯田美穂, 野村恭子.
「日本人就労女性における月経前症候群の重症度とアブセンティーズムとの関連。」
就労女性健康研究会 オンライン開催 2022.11.12
- ◆ 太田友, 藤田望, 鈴木智也, 鎌塚真, 坂田捺哉, 長島健悟, 平山純子, 藤田直子, 志賀くに子, 大山則昭, 寺田幸弘, 野村恭子.
「7週間のLINEを用いた介入によるHPVワクチン接種意思への効果検証:ランダム化比較試験。」 就労女性健康研究会. 東京 2022.11.12
- ◆ 清水紀翔, 澤口駿, 津田直輝, 野村恭子.
「2019年協会けんぽ秋田支部に加入する被保険者81276名におけるうつ病に関連する因子の検討。」 日本産業衛生学会東北地方会. 山形 2022.7.23
- ◆ 青木瑞樹, 山崎貞一郎, 澤口駿, 鎌塚真, 津田直輝, 木村匠, 長島健悟, 野村恭子.
「協会けんぽ秋田支部男女被保険者114,834名の追跡コホートにおけるアルコール性肝障害の発生率および罹患率比に与える飲酒の影響。」 東北公衆衛生学会. 山形 2022.7.22
- ◆ 酒井一樹, 宮地貴土, 澤口駿, 野村恭子.
「職域健康診断における生活習慣病受診勧告後のアドヒアランスにおける喫煙の影響と産業別喫煙習慣の検討。」 日本産業衛生学会東北地方会. 山形 2022.7.23
- ◆ 太田友, 藤田望, 鈴木智也, 鎌塚真, 坂田捺哉, 長島健悟, 平山純子, 藤田直子, 志賀くに子, 大山則昭, 寺田幸弘, 野村恭子.
「SNSによる情報提供は郵送による情報提供と比較してHPVワクチン接種意思を向上するか:ランダム化比較試験を用いた検討。」 第50回日本女性心身医学会. 東京 2022.8.27-8
- ◆ 藤田望, 野村恭子. 「大学病院に勤務する女性看護師における精神的・肉体的労働負荷が月経前症候群および月経前不快気分障害に及ぼす影響。」 第50回日本女性心身医学会. 東京 2022.8.27-8
- ◆ 青木瑞樹, 澤口駿, 鎌塚真, 津田直輝, 長島健悟, 山崎貞一郎, 野村恭子. 「秋田県男性被保険者追跡コホートにおけるアルコール性肝疾患の罹患率比への飲酒の影響。」
第95回日本産業衛生学会. 高知 2022.5.25-28
- ◆ 酒井一樹, 宮地貴土, 高橋耕平, 澤口駿, 岩田豊人, 野村恭子.
「職域健康診断における2次検査受診勧告に対するアドヒアランスに影響を与える因子の研究。」 第95回日本産業衛生学会. 高知 2022.5.25-28
- ◆ 清水紀翔, 飯田美穂, 竹之下千尋, 前田恵理, 野村恭子.
「インターネット調査を用いた更年期にある女性フルタイムワーカー3,645名における健康尺度の開発。」 第95回日本産業衛生学会. 高知 2022.5.25-28

論文指導方法

- 学会発表を一回やればハードルは下がる。
- 最近では学生からの紹介が多い
- 興味のある研究テーマを紹介
- 研究をやりたいという学生へは
 1. 疫学研究や生物統計学をOJTで学ぶ
 2. 研究リソースを惜しみなく提供
 3. 大学院生などを積極的に紹介し、講座内で助け合いのネットワークを作る

英文原著論文が書けるようになるまで

<1年目>

- 生物統計をマスター→PCの貸し出し 統計ソフトの提供
- PubMedでレビュー→基礎配属
- データセットの提供→やる気のある学生のみ
- 学会発表

時々、学生はドロップアウト

<2年目>

はじめての論文執筆 1年目をsurviveした学生

大体目安は2年 優秀な学生は1年で原著論文執筆

指導は最小限に、自分で考えてもらうように指導

The screenshot displays the Microsoft Word interface for a document titled "MS_YO_ver28.docx". The ribbon is set to "ホーム" (Home), and the "スタイル" (Styles) section shows "あア亜" (Aa) styles. The main text area contains a manuscript template with a highlighted instruction: "Body of your paper – up to 7000 words, up to 5 tables and figures, no abbreviations (other than those permitted by journal policy)." Below this is an "Introduction" section discussing nursing professionals in Japan and premenstrual syndrome (PMS). A comment pane on the right shows a conversation between "野村 恭子" (Nozumi Takako) and "guest1". The comment from Nozumi Takako is highlighted with a purple box and contains a citation: "Steiner, M. & Wilkins, A. (1996) Diagnosis and assessment of premenstrual dysphoria. *Psychiatric Annals*, 26, 571–575. 2021年5月3日、10:08". The taskbar at the bottom shows the Windows Start menu, search bar, and system tray with the time 22:32 on 2023/04/08.

衛生学公衆衛生学講座に所属する医学部生研究実績 2021～2022年

- 筆頭学会発表

2021年 16件 2022年 17件

- 筆頭英文原著論文

2021年 1件

Takashi Miyachi, Kyoko Nomura, Sachiko Minamizono, Kazuki Sakai, Toyoto Iwata, Yuta Sugano, Shun Sawaguchi, Kouhei Takahashi, Kazuo Mishima. Factors associated with insomnia among truck drivers in Japan. *Nature and Science of Sleep*. 2021 May 18;13:613-623. doi: 10.2147/NSS.S307904. eCollection 2021. **IF 5.2**

2022年 6件

Yuta Sugano, Takashi Miyachi, Tomoka Ando, Toyoto Iwata, Toshikazu Yamanouchi, Kazuo Mishima, Kyoko Nomura. Diabetes and anxiety were associated with insomnia among Japanese male truck drivers. *Sleep Medicine*. 2022 Feb;90:102-108. doi: 10.1016/j.sleep.2022.01.014. Epub 2022 Jan 22.. **IF 4.5**

Tomoya Suzuki, Keisuke Nojiri, Satoshi Higurashi, Yuta Tsujimori, Yasuhiro Toba, Kyoko Nomura. Relationship between child care exhaustion and breastfeeding type at two and six months in a cohort of 1,210 Japanese mothers. *Nutrients* 2022 Mar 8;14(6):1138. doi: 10.3390/nu14061138. **IF 5.6**

Takashi Miyachi, Yuta Sugano, Shizune Tanaka, Junko Hirayama, Fumio Yamamoto and Kyoko Nomura. COVID-19 Vaccine Intention and Knowledge, Literacy, and Health Beliefs Among Japanese University Students. *Vaccines* 2022 Jun 2;10(6):893. doi: 10.3390/vaccines10060893. **IF 5.2**

Yu Ota, Kyoko Nomura, Junko Hirayama, Eri Maeda, Junko Komatsu, Mio Nakamura, Rouko Yamada, Hitomi Ishikawa, Teiko Kobayashi, Hideko Shirakawa, Kozo Aisaka, Mariko Ono, Haruko Hiraike, Osamu Hiraike, and Hiroko Okinaga. Relationship between somatic symptoms with menstruation and intention to leave work among university hospital nurses in Japan: A cross-sectional study. *International Archives of Occupational and Environmental Health* 2022 Aug 1. doi: 10.1007/s00420-022-01905-0. **IF 4.2**

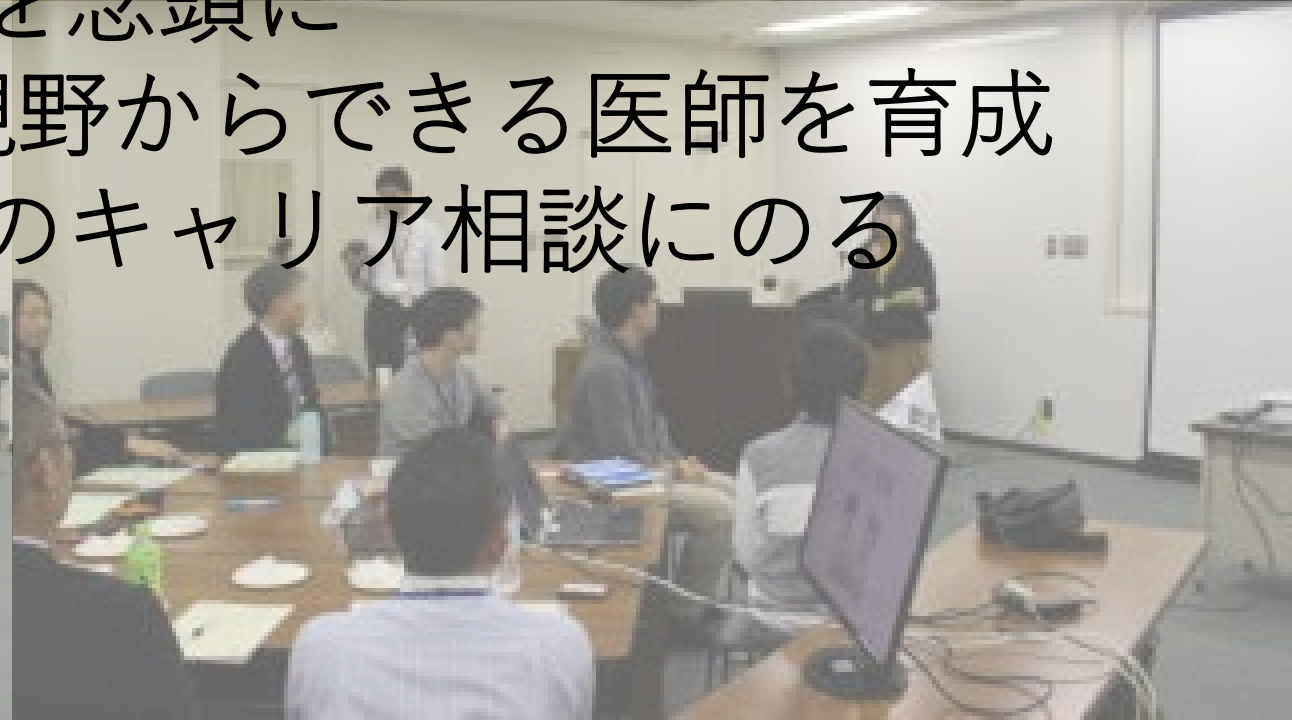
Suzuki T, Ota Y, Sakata N, Fujita N, Kamatsuka M, Nagashima K, Hirayama J, Fujita N, Shiga K, Oyama N, Terada Y, Nomura K. HPV vaccine intention among university students during suspension of active recommendation in Japan. *Hum Vaccin Immunother*. 2022 Sep 15:2116900. doi: 10.1080/21645515.2022.2116900. **IF 4.3**

Yu Ota, Kyoko Nomura, Nozomi Fujita, Tomoya Suzuki, Makoto Kamatsuka, Natsuya Sakata, Kengo Nagashima, Junko Hirayama, Naoko Fujita, Kuniko Shiga, Noriaki Oyama and Yukihiro Terada. Influence of LINE-Assisted Provision of Information about Human Papillomavirus and Cervical Cancer Prevention on HPV Vaccine Intention: A Randomized Controlled Trial. **IF 4.6**



大切にしていること
人材育成を念頭に

患者さんのケアを社会的視野からできる医師を育成
公衆衛生に限らず将来のキャリア相談にのる



本日の発表者

- 太田奈歩 医学部4年生 「社会的処方実装に向けて～医師・リンクワーカーへのインタビュー調査～」
医学部1年生からの講座への出入り
- 菅野勇太 医学部4年生 「我が国のトラックドライバーにおける睡眠障害による事故防止を目指して」
医学部1年生からの講座への出入り
- 太田友 医学部6年生 「婦人科領域に関する公衆衛生学的研究」
医学部2年生からの講座への出入り